

2012 年度 事業および運営に関する報告

(2012 年 4 月 ～ 2013 年 3 月)

[2012 年度の総括]

[事業面]

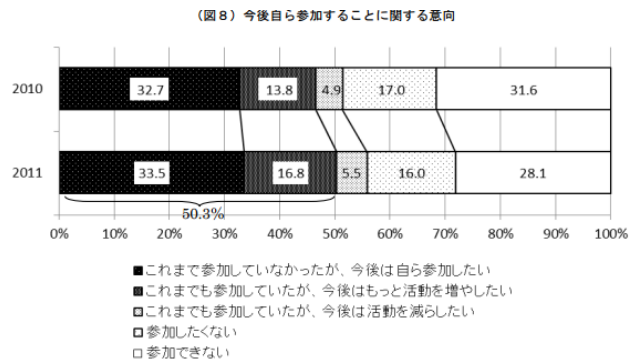
※後段の「事業報告の詳細」参照

1 ●事業展開において重視した点

社会の動向

少子高齢社会となり、私たちの生活課題の深刻化・顕在化は進み、かつ、社会・経済・政治の状況も世界的に流動的な様相をきたす中、貧困・環境・福祉など、国際的に共通する課題も散見される。

そのような中、ここ 10 数年来、「何か地域のためにできれば」、「もっと安心して暮らせる社会づくりを」という思いやこころざし、問題意識を抱き始める市民（個人）や NPO への期待感や注目度が各所で増してきた。内閣府の「国民選好度調査」の経年の結果（右図）を見ても、意識の高揚傾向が見て取れる。



福岡県内の NPO の動向

現在、福岡県内でも、特定非営利活動法人として活動する団体は 1,600 団体を上回り（2013 年 3 月末現在／所轄庁：福岡県・福岡市・北九州市）、依然、漸増傾向にある。

しかしながら、福岡県を含む全国各地で、情報公開（事業報告書の提出等）の義務を怠っているところも多いようで、加えて、新たな会計基準（NPO 法人会計基準）も法定化された以上、法人格を有する団体も含め、真に社会や地域に信頼されるセクターとしてのあり方がいよいよ問われる時機に入っている。

行政の動向

多くの地方自治体は、ここ 10 数年来、「協働」や「市民活動支援」といったアプローチを施策上に打ち出しており、その流れの中で、従来から行われてきた NPO への資金的支援や市民活動支援拠点施設の整備に加え、協働の取り組みを誘発させるためのマッチングの仕組みづくり（提案公募型事業）に乗り出すところもみられる。他方、最近は、長らく地域活動を担ってきた自治会・町内会等の地縁組織の改編の動きが強まってきており、とりわけ基礎自治体（市町村）では、

協働や市民活動支援施策よりも、こちらに注力する向きすらみられる。いずれも、行財政改革の文脈で捉える向きもみられ、「協働」や「コミュニティ」をそのための一手段として位置付ける風潮が、行政内部において、益々強まらないかとも憂慮している。

企業の動向

企業においては、CSR（企業の社会的責任）やSR（組織の社会的責任）への関心が、福岡のような地方都市にある企業でも徐々に高まっており、その一環として、NPOへの支援や連携関係を模索する企業も出てきている。数年前までは専ら大都市に本社を置く大手企業の関心対象であったが、最近では、地場の大手や中小企業レベルでも、勉強会等を開く動きが出てきている。行政の中には、NPOと企業との協働を政策的に推進する動きもみられ、社会や地域に貢献する活動の領域拡大へとつながるか、注視する必要がある。

市民（個人）の動向

冒頭でふれたとおり、東日本大震災の被災地支援を目的とした多くのボランティアや寄付の動きを背景に、個人の社会貢献意識が高まっている。ここ福岡でも、災害支援に限らず、「プロボノ」等の形で社会貢献を志向する人々が散見され、当センターで2011年度より始動しているプロボノのコーディネーションの取り組みにおいても、その傾向が見てとれる。

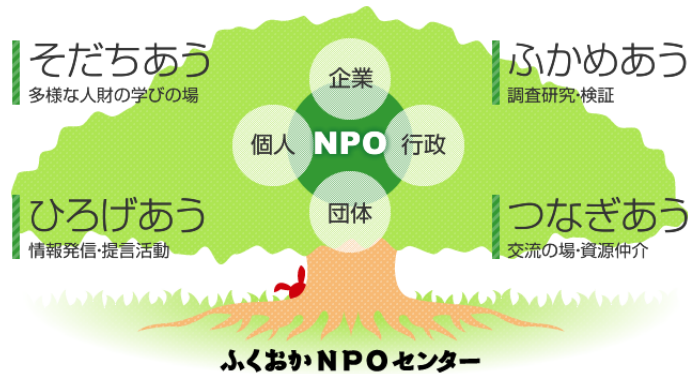
当センターの指針

以上のような動向を傍目に、2012年度については、NPO・企業・行政等を対象とした力量形成のための研修やネットワークづくり、一般市民やNPO・企業・行政等のセクター毎の関係者を対象とした啓発・提言活動、コーディネーションを継続して取り組みつつ、あわせて、NPOの組織基盤強化（キャパシティ・ビルディング）にも注力した。

また、NPOやボランティアとしての活動者や関心者は今後も増えることが予測され、法人化している団体も含め、NPO関係者や一般市民が、NPOやボランティアの基本的理解を確かめたり、自らの活動のありようについての認識や検証を促すことは、やはり意義深いと考え、外部組織とタイアップした形での機会を提供した。

2 ●事業の主な実施手法

2012 年度は、設立 10 周年を機に、新たに刷新したミッションの 4 つの柱「ひろげあう」「そだちあう」「ふかめあう」「つなぎあう」に即して、自主事業・受託事業・助成事業を展開してきた。



4 つの柱ごとの事業の詳細は後述するとして、自主事業としては、継続事業である月例イベント「5 丁目カフェ うさぎ」や、企業から NPO に物品を橋渡しするサービス「つこーちゃん?」、さらに、災害関連の支援活動として、ソーシャルメディアを活用しての東日本大震災関連の情報収集・発信活動や、被災地支援に取り組む NPO を資金面で支援する助成プログラムの広報 PR 活動、2012 年 7 月に発生した九州北部豪雨災害に係る、企業・生協から災害ボランティアセンターへの物資や寄附金の仲介や、現地の市民活動団体への寄付金の仲介等に取り組んだ。

また、ネットワーキングの活動として、事務局として運営協力しながら参画している企業・行政関係者有志の自主勉強会「企業市民ネット九州 (KIQ)」・「パートナーシップ研究会 (ぱ～研)」を引き続き行った。

他方、行政からの受託事業として、主に行政内部向けの協働の環境整備プロジェクトとして 2007 年からの「佐賀市協働ステップアップ事業」(佐賀市と協働)、および、2011 年度からの福岡県版プロボノ推進プロジェクト「人材活用事業 (ふくおか かつぎて けいかく)」(福岡県と協働)に取り組んだ。

また、民間ベースの事業として、北九州市内の児童館を対象とした「子どものための児童館と NPO の協働事業 (NPO どんどこプロジェクト)」(協賛: 財団法人住友生命社会福祉事業団)、「Panasonic NPO サポート ファンド」の助成先の NPO 2 団体への組織基盤強化に係るコンサルテーション(助成: パナソニック株式会社)、公益財団法人福岡県地域福祉財団と共催での「NPO・ボランティア助成プログラム合同説明会」、特定非営利活動法人日本 NPO センターの「東日本大震災の被災 3 県における NPO 育成・強化プロジェクト」、宮城県および特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるると共催での復興状況を伝える写真展に取り組んだ。また、中央共同募金会の「災害ボランティア・NPO サポート募金」や、改革のためのプロジェクトにも委員として参画した。

その他、全国的なネットワークでの活動として、引き続き、「NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会」・「社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク (NN ネット)」・「NPO 法人会計基準協議会」に参画した。

以上は、総じて、これまでに蓄積してきたノウハウやネットワークを生かしながら、従来の事業をより深化・充実させる姿勢で活動を進めると同時に、多様なセクターの関係者にお力添えをいただきながら、取り組んできた次第である。

3 ●これまでになかった点

▼NPOの組織基盤強化をハンズオンで取り組んだ

上記「Panasonic NPO サポート ファンド」(助成：パナソニック株式会社)、「東日本大震災の被災3県におけるNPO育成・強化プロジェクト」(主催：特定非営利活動法人日本NPOセンター)において、計5団体(前者2団体・後者3団体)の組織基盤強化プログラムをハンズオン(訪問、面談)で取り組むことができた。

▼しくみへの提言の機会が増えた

上記の中央共同募金会の「災害ボランティア・NPOサポート募金」や、改革のためのプロジェクトをはじめ、個別での相談や会議への参画などの形で、官民の取り組みのしくみ(考え方、進め方)についての提言機会が増えた。

4 ●反省点

例年の反省点であるが、事業のボリュームが相応であるため、もろもろの取り組みについて、綿密な記録化や、情報の整理等まで至らぬまま、追われるままに過ぎてしまった感が否めない。

[運営面]

1 ●運営面において重視した点

数年来、依存財源(特に受託事業)の比率が高くなっていることから、2012年度は、自主財源の確保のために、特に会員制度に力点を置いて、入会のPRを意識的に行った。

2 ●運営面の取り組み状況

▼理事会

2012年度中の理事会の開催実績は、計4回(7/27 第27回理事会、1/18 第28回理事会、2/12 第29回理事会、5/15 第30回理事会)である。新たなミッションの下、事業および運営の進捗を共有し、課題やアイデア等を討議した。

▼評議員会

2012年度中の評議員会の開催実績は、計1回(11/20 第2回評議員会)である。今後の事業展開の参考とさせていただくべく、中長期的観点からの方向性等についてのご意見をいただいた。

▼事務局

2011年度に引き続き、常勤3名体制(うち1名はプロジェクトスタッフ)となったが、1名(吉富まゆみ)が3月に退職したため、2名体制となった。

▼ボランティア受け入れ

年々、ボランティアやインターンが活動する機会が増えてきた。また、従来から取り組んでいるボランティアお試しプログラム「ぼらタイム」の他、2011年度より継続受け入れ中の株式会社ジェーシービー九州支社の社員ボランティアプログラム、福岡市NPO・ボランティア交流センター(あすみん)にてコーディ

ネットされている「ボランティアインターンシップ」を通じて参加される方が複数おられ、参加型で風通しの良い組織づくりのための試みをしているところである。こうした正規のボランティア受け入れプログラムの他、空いた時間を活用した単発的な個人ボランティアが目につき、メール等で問合せをいただくケースも増えている。中には常連化されている方もおられ、各人にとって、「市民活動」の世界へのいざないともなり、また楽しいコミュニケーションの機会ともなるため、事務局としては喜ばしく心強い事である。

3 ●これまでになかった点

▼理事会・評議員会

10 年目を経た 2012 年度は、新たなミッションの下で、事業および運営を強化するべく、個々の事業はもとより、中長期的観点からの議論を図った。このお陰で、理事会・評議員会ともチームとしての意識もより一層生まれている感がある。

▼事務局

引き続き、日々の業務日報を役員 ML 上で共有し、コアメンバー間での情報や課題の共有を図ってきた。また、ボランティアのサポートも借りながら、保管資料等不要物の破棄もすすめ、事務所内の環境整備にも注力した。

4 ●反省点

経年の課題として、進行中の事業や運営に係る、都度必要になるような書類が散在しており、内容別の整理や所在の情報共有、個人情報等重要な情報を記載している資料の保管のあり方を日頃から進めておくことが必要である。また、職員が 1 名退職したことに伴う新規雇用も年度をまたぐ課題となった。

[事業報告の詳細]

※「★」は 2012 年度中、新規に取り組んだもの。「★」の無い事業は、継続事業。

※定款記載の 5 種類の事業（下記）について「A」～「E」とナンバリングし、ここに報告する各事業と定款記載の 5 種類の事業種別との関連についても付記。

エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業…[定款 A]
エヌピーオーの社会啓発に関する事業…[定款 B]
エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業…[定款 C]
エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業…[定款 D]
エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業…[定款 E]

ひろげあう ～情報活動、提言、キャンペーン等～

- いきもののありようを市民参加型で学ぶ全国企画 「SAVE JAPAN プロジェクト」 [定款 B]
(主催：47 都道府県の環境 NPO、共催：当センター・特定非営利活動法人日本 NPO センター
協賛：株式会社損害保険ジャパン)

詳細：<http://savejapan-pj.net/sj2012/>

- 7/14(土)「夏の夜の生きもの」～ヘビの観察～
in 九州大学伊都キャンパス “生物多様性保全ゾーン” (糸島市) 22名
主催NPO：元岡「市民の手による生物調査」
- 8/2(木)「豊の国けいちくエコミュージアム 生きもの探検隊
～体感！川が育む多様ないのちを学ぼう」(行橋市) 32名
主催NPO：豊の国・海幸山幸ネット
- 10/28(日)「生きものの宝庫 “和白干潟”を観察しよう」(福岡市) 28名
主催NPO：和白干潟を守る会
- 12/16(日)「水鳥の宝庫、冬の和白干潟を観察しよう！」(福岡市) 19名
主催NPO：和白干潟を守る会
- 1/13(日)「冬の生き物探検隊～クロツロヘラサギでつながろう！」(行橋市) 26名
主催NPO：豊の国・海幸山幸ネット
- 2/23(土)「冬の水辺をのぞいてみよう！」(九大伊都キャンパス内) (糸島市) 30名
主催NPO：元岡「市民の手による生物調査」

- 10/25(木)「NPO・ボランティア助成プログラム合同説明会」 [定款B]
(主催：公益財団法人福岡県地域福祉財団、当NPOセンター)
・市民活動を対象とした県内の4つの助成プログラムおよび1つの行政の提案公募型協働事業の
担当者とじかにコミュニケーションを持てる機会として開催。
前半では各プログラムの説明、後半では質疑応答を実施。
・NPO・企業・行政等から60名が参加。
・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/24>
・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50881115.html

■災害支援に関わる活動 [通年/定款D] ★

・情報活動

以下2種類の情報媒体を運用。

twitter → <http://twilog.org/fnpoc>

(まとめ読み可能/随時更新中/Facebookと連動)

ブログ → <http://j.mp/fzHOMS> (//)

・募金活動

①東日本大震災関連

被災地に関わるNPO活動の支援につながる募金プログラムの広報PR面での支援を、「被災地をささえるNPOを、わたしたちで、ささえませんか。～もうひとつの、「私たちにできること」～」と銘打って実施中。目下、以下の4つのプログラムを対象としている。

「東日本大震災現地NPO応援基金」 日本NPOセンター

<http://www.jnpoc.ne.jp/?tag=311jisin-fund>

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」 中央共同募金会

<http://www.akaihane.or.jp/topics/detail/id/61/>

「ホープ常磐募金」 茨城NPOセンター・コモンズ

～茨城県および福島県いわき市も含めた広く常磐エリアの市民活動支援を応援～

<http://www.hope-joban.org/blog/bokin.html>

「被災地NPO応援基金」 市民活動センター神戸 (KEC)

～東北関東大震災 被災地のNPOを応援する市民基金～

<http://kobekec.net/index.html>

②九州北部豪雨災害関連

発災後、物品や寄附金のコーディネート等を行った。 ※別紙

- ・写真展「東日本大震災3.11～あれから2年 被災地みやぎも やっと復興の兆しが～」[定款B]
主催：宮城県、企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催：当センター、協力：LOVE FM
3月25日～31日の間、福岡市中心部の商業施設「福岡三越」ライオン広場にて
詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/26>
当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50890209.html

■全国ネットワークへの参画 [通年/定款B、D]

- ・「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」
- ・「新しい公共支援事業を考えるNPO支援ネットワーク」
- ・「NPO法人会計基準協議会」

会合参加状況

6/15 NPO法人会計基準協議会 総会 (古賀)

11/22 会計基準の普及を考えるフォーラム (古賀、吉富)

～その他(各種会合等)～

- ・日本NPOセンター 通常総会 (5/25 古賀)
- ・日本NPOセンター 評議員会 (10/26 古賀)
- ・民間NPO支援センター・将来を展望する会 (CEOミーティング) (8/16-17・11/21 古賀)

そだちあう

～個別相談、リーダー間の学びの場づくり、各種専門研修、連携・協働に関する 研究会活動～

■「NPOヨモヤマ相談。」 [通年/定款A]

- ・計4件対応(有料対応分/¥2,000 前年度比 +1件/NPO、企業等)
- ・その他、個別相談に準ずる内容に関する対応状況 … 電話=98件(前年度比 +31件)
メール=291件(前年度比 +10件)

■6/23(土)「Panasonic NPO サポート ファンド

キャパシティビルディング(組織基盤強化)&助成公募説明会」 [定款A]

(パナソニック株式会社と共催)

- ・古賀によるワークショップ、パナソニック株式会社 社会文化グループの金村さんによる助成公募オリエンテーション。20団体が参加。
- ・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/18>
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50872625.html

■7/28「助成財団シンポジウム in 福岡」 [定款A]

(NPO支援財団研究会 [事務局:(公財)助成財団センター]と共催)

- ・認定特定非営利活動法人日本NPOセンター顧問の山岡さんの基調講演とともに、よりよく助成プログラムを活かしたNPO3団体の事例報告と質疑応答、個別相談。50名が参加。
- ・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/20>
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50874837.html

■9/30(日)「たしかに「信頼」を勝ち得るには!

- ～ “エクセレントNPO基準”で考える、NPOのあり方。～」 [定款A]
 (特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡と共催)
- ・ 田中弥生氏 (国際公共政策博士 (大阪大学)、日本NPO学会会長等) による、ピーター・ドラッカーの数々の言葉やエクセレントNPO基準にまつわる講演&ワークショップ。60名が参加。
 - ・ 詳細: <http://www.npo-an.com/event/archives/19>
 - ・ 当日の様子: http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50879286.html

■ NPOの組織基盤強化 (キャパシティビルディング) の支援 [定款A]

- ① 東日本大震災被災3県を対象とした市民活動団体 (NPO) 育成・強化プロジェクト
 (主催: 特定非営利活動法人日本NPOセンター、協力: 特定非営利活動法人ワールドビジョンジャパン)
 - ・ 詳細: http://www.jnpoc.ne.jp/?tag=npo_ocb_pj
 - ・ 実行委員、集合研修講師、宮城県内の3団体 (特定非営利活動法人みやぎ宅老連絡会、特定非営利活動法人FORYOUにここにこの家、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター) のスタッフのメンターを担当。
- ② 「Panasonic NPO サポート ファンド」助成団体への組織診断のコンサルテーション
 - ・ 詳細: <http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/>
 - ・ 特定非営利活動法人ちいさいおうち共同保育園 (北九州市)、特定非営利活動法人シンフォニー・ネット (山口県下関市) の2団体を担当。

■ 講師派遣事業 * 2012.4月~2013.3月実施分/原則として古賀で担当 [通年/定款A]

- 通年 福岡県市町村職員研修所 一般職員二部研修 講師 (2日間×5回)
 [協働、政策形成能力、コミュニケーション能力]
- 通年 福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 “四王寺塾” コメンテーター
 (中間発表会、最終報告会)
- 12/04/17-12/04/23 中間市 地域福祉計画策定に係るファシリテータ研修 講師 (4回)
- 12/05/17-18 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク (NN ネット)
 「SR フォーラム 2012—社会的責任 (SR) から社会的信頼 (SR) へ」
 コーディネーター
- 12/05/23 福岡県男女共同参画センター・あすばる 「あすばるキャリア塾」ゲスト
- 12/06/10 香春町ボランティア団体連絡協議会 記念講演 講師
- 12/06/13 古賀市 ボランティアコーディネーション研修 講師
- 12/06/28 大分県社会福祉協議会市民活動・ボランティアセンター
 ボランティアコーディネーター研修 講師
- 12/08/03 佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターアバンセ
 平成24年度ファシリテーション研究会 「まなびほぐしワークショップセミナー」 講師 [”伝える”ためのちょっとしたコツ]
- 12/08/10 文部科学省 社会教育主事講習 講師 [NPO 概論]
- 12/08/20-21 金沢市 職員研修 (新任課長補佐対象) 講師
- 12/09/06 浅口市 (岡山県) 市職員研修 [協働]
- 12/09/09 鳥取県NPO経営会議 「NPOの学校」 講師 [コミュニケーション]
- 12/09/14-15 佐世保市&長崎県社会福祉協議会
 中間支援研修&NPO マネジメント研修 講師
- 12/09/16 春日市 「人財づくり講座」 講師 [企画力、広報力]
- 12/09/18 福岡県 「地域婦人会連絡協議会リーダー研修会」 講師
- 12/09/21-12/12/07 北九州市国際交流協会
 「共生の地域づくりゼミ~地域をささえる組織マネジメントのコツ~」 (計3回)

- 12/09-12/11 とす市民活動ネットワーク（佐賀県鳥栖市）
「地域円卓会議 in とす」 ファシリテーター（計4回）
- 12/10/5,17,18,19 島根県自治研修所 新規採用職員研修 講師 [協働]（計3回）
- 12/10/09-10 佐賀市 協働研修（課長級、協働推進員、一般向け 計3回）
- 12/10/11 長崎県 「わたしたちの島づくりフォーラム in 壱岐」 講師
- 12/10/15 TOTO株式会社 グリーンボランティア研修・推進会議 講師
- 12/10/17 大分県社会福祉協議会 市民活動・ボランティアセンター
ボランティアコーディネーター研修フォローアップ編 講師
- 12/10/21,13/01/25,13/02/16 柳井市（山口県）
中間支援組織スキルアップ研修 講師（計3回）
- 12/10/25 福岡県地域福祉財団 助成プログラム合同説明会 コーディネーター
- 12/11/03,13/03/10 大分県 福祉ボランティア研修 講師（計2回）
- 12/11/07 福岡県市町村民生委員児童委員協議会会長研修 講師
- 12/11/09 平成24年度 日本セラピューティック・ケア協会
全国講師研修会 講師 [認定NPO法人]
- 12/11/13-14 大分県 土木建築部 中堅技術職職員対象
ワークショップ ファシリテーター研修 講師
- 12/11/17 大阪狭山市市民活動支援センター「伝えるコツセミナー」 講師
(NPO広報力向上委員会メンバーとして)
- 12/11/18 鳥栖市障害者理解促進事業研修会 パネルディスカッション
コーディネーター
- 12/11/20 Panasonic 株式会社 「キャパシティビルディング フォーラム」 パネラー
- 12/11/22-23 「市民セクター全国会議 2012」(日本NPOセンター) コーディネーター
- 12/11/30,13/01/11 飯塚市 中堅職員対象
「政策形成&コミュニケーションカUP」研修 講師(2日間)
- 12/12/04 鹿児島県 「NPO実践講座」 講師 [組織マネジメント]
- 13/01/15-17 ふるさと島根定住財団
「伝えるコツ〜プレゼンテーションスキルアップセミナー」講師(西部・東部)
- 13/01/17-29 独立行政法人福祉医療機構(WAM) 助成完了説明会 講師(計5会場)
- 13/02/01-3/2 福岡市 職員研修「人権のまちづくり」 ファシリテーター (計3回)
- 13/02/02 のおがたの地域づくりを考える会&直方市
「市民協働のまちづくりセミナー」 講師
- 13/02/03 アコルデ(北九州の音楽文化を支える会)
北九州市平成24年度「ホット学びたい市民講座」
- 13/02/04 福岡県 「県庁活性化フォーラム」 コーディネーター
- 13/02/05 TOTO株式会社 「TOTOステークホルダーダイアログ」 コーディネーター
- 13/02/06 宮崎市役所 中堅職員研修
- 13/02/12 高知県ボランティア・NPOセンター
「Let's プレゼンクッキング!〜よりおいしく、より伝わるものに〜」 講師
- 13/02/13 宮崎市保健所 職員研修
- 13/02/14 一般財団法人電源地域振興センター研修会
「多様な主体が活躍する協働によるまちづくり」 講師
- 13/02/18 佐賀市 NPO&行政合同研修「協働劇場」 講師
- 13/02/19 志免町(福岡県) 職員研修 講師 [協働]
- 13/02/22 日本NPOセンター 「NPOと行政の対話フォーラム」 コーディネーター
- 13/02/26 電通+NPO 広報力向上委員会
「NPOのための広報スキルアップセミナー特別編」 NPO 講師
- 13/03/02 石川県&かなざわ創造塾
「"伝えるコツ"で"伝わっていないコツ"を学ぶ」 講師
- 13/03/06 和歌山県 NPO向け広報スキルアップ研修 講師
- 13/03/07 長崎県社会福祉協議会 「中間支援組織研修」 講師
- 13/03/09 水俣市社会福祉協議会(熊本県) 市民活動団体向けマネジメント研修 講師

13/03/13 由布市社会福祉協議会（大分県）「由布市ボランティア・市民活動セミナー」 講師
13/03/23 長崎県社会福祉協議会 NPO 向け広報スキルアップ研修 講師

ふかめあう ～調査研究、セクター別/間のよりよい協働の環境づくりのための研究・検証活動～

■ 「佐賀市協働ステップアップ事業に関するコーディネーション委託業務」 [通年/定款C]
(佐賀市との協働/受託)

- ・ 佐賀市の協働の実態を検証し、施策をブラッシュアップするためのプロジェクト。
2007 年 5 月より始動。
- ・ 活動内容

【2007 年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング）、トップ研修（三役含む）、協働に関する NPO および行政双方からの相談対応、「佐賀市協働情熱チーム」の編成＋特訓（研修）、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催



【2008 年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング）、08 年 10 月より「協働相談会」（予約制の個別相談サービス）を開設、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催（計 3 回/事例発表と交流）、市職員対象の「佐賀市協働情熱チーム BootCamp！」（11 月）および NPO & 市職員対象の「佐賀市の協働を進めるトレーニング研修 “協働劇場”」（09 年 1 月）（協働推進に係る人材育成）



【2009 年度実績】

実態調査（アンケート＋ヒアリング/47 回＝行政担当部署のべ 42、市民活動団体 5、財団法人 1、企業 1）、「協働相談会」（08 年 10 月に開設した予約制の個別相談サービス/2009 年度中は 5 件対応）、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催（計 4 回/事例発表とセクターを超えた交流の機会として/累計 8 回）、冊子「佐賀市協働力本」の作成・発行



【2010 年度実績】

佐賀市内で活動する NPO 306 団体を対象に、協働のニーズや課題等を問うアンケート調査および 7 団体の訪問調査を行い、佐賀市との協働の現況や課題についてキャッチした。この内容の一部を、2011 年 4 月付の市報に事例紹介として掲載した。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。



【2011 年度実績】

隔年での佐賀市役所庁内の協働実態調査およびヒアリングと、企業向けのアクションを新たに探るべく、2012 年度を見越したアンケート調査の設計を行った。また、「佐賀市協働情熱チーム」なる、協働に熱意と感度のある職員を対象とした研修を行った。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。



【2012 年度実績】

佐賀市役所庁内の協働実態調査およびヒアリングとあわせて、企業向けのアク

ションを新たに探るべく、2011 年度より準備していた社会貢献活動に関するアンケート調査を市内に本社を置く企業を対象に実施した。その結果、204 社（回答率 34.9%）から回答を得、社会貢献活動に実際に取り組んでいる企業数は少ないながらも、概ね前向きで、佐賀市の市民活動支援や協働推進施策にも今後活かせる足がかりを得た。また、市役所庁内の協働の理解度とモチベーションを上げるために、「こちら協働診療所」なる現場の協働事例研究を主とした研修や、全職員向けの研修「協働劇場」を行った。前者では、「佐賀市協働情熱チーム」なる、協働に熱意と感度のある職員その他、新たな職員の参加も得、研修の後、同チームのメーリングリストに新たに 10 名を追加するに至った。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。

■各セクターの有志による研究会活動への参画 [通年/定款B]

・「企業市民ネット九州（通称：KIQ/きっく）」

企業の社会貢献担当者ないし関係者の有志が主体で、08 年 1 月より始動。

詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/21>

今年度は、9 月～3 月「企業のための社会活動セミナー」と「KIQゼミ」（各 2 回）を開催した。のべ 10 社、34 名が参加。

「企業のための社会活動セミナー」 【講演&ワークショップ】

その 1 ～ これからの”企業市民”像を考える

その 2 ～ さまざまな事例をキャッチしよう

「KIQゼミ」 【事例発表】

その 1 ～ 地域に根ざすということ

その 2 ～ 企業間での協働

・「パートナーシップ研究会（通称：ぼ～研）」

福岡県および佐賀県の基礎的自治体（市町村レベル）の市民活動支援や協働を志す行政職員有志による勉強会活動。08 年 1 月より始動。当センターは事務局として参画。議会期など繁忙期を除き、一定のテーマに基づいて情報を持ち寄り、意見交換を行い、終了後は懇親会を行い、ネットワークづくりを図る。計 13 自治体 17 名が参加。

2012 年度中は以下 2 回開催した。

7/25 第 13 回 「ぼ～研（パートナーシップ研究会）」（福岡市）

詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50874667.html

10/6 第 14 回 「ぼ～研（パートナーシップ研究会）」（筑紫野市）

詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50879841.html

つなぎあう ～対話、交流、資源の仲介～

■「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」 [通年/定款B]

（主催：日本NPOセンター、共催：（財）児童健全育成推進財団、協賛：（財）住友生命社会福祉事業団）

- ・行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出するためのプロジ

- エクト。2007年5月より始動。専用サイト <http://www.npo-dondoko.net/>
- ・これまで、下記の5地域で実施。
新潟(新潟NPO協会)、金沢(いしかわ市民活動ネットワークセンター)、
仙台(せんだい・みやぎNPOセンター)・京都(きょうとNPOセンター)、
福岡(当センター)
 - ・2011年度より、水平展開のために、全国の児童館を対象とした公募助成へシフト。
 - ・小倉北エリア5館・南エリア1館の計6児童館合同で、児童館のCM制作および
発表会「第一回世界の児童館のCMフェスティバル」の企画について、特定非営
利活動法人KIDs work および大塚恵美子氏(劇団夢の工場)に協力いただいた。

■”ふくおか かつぎて けいかく”(福岡県共助社会づくり事業 人材活用事業) [通年/定款E]
(福岡県NPO・ボランティアセンターの協働/受託)

- ・さまざまな得意を持つ人をNPOにコーディネートするプロジェクト。
- ・「かつぎて」 — 「か」おで/「つ」ながる/「ぎ」じゅつの/「て」だすけ の意。
- ・10/14(日) 福岡版プロボノ活動推進プロジェクト 1周年記念イベント
「あなたの知識・経験をNPOをかつぐチカラに!
～プロボノ的な暮らし方を知る、ふくおか かつぎて けいかく～」
- ・登録数(2013/3/31現在)

かつぎて…78名

属性	人数
企業の社員	25
クリエイター(web、グラフィック、コピー等)	14
専門家(税理士、会計士、中小企業診断士)	7
自治体職員	6
退職者	5
英会話講師・翻訳	2
学生	5
その他(福祉、市町ボランティアセンター等)	14

NPO…32団体

希望する支援内容	団体数
運営支援 (会計・労務・法務・企画書作成ノウハウ)	8
広報支援	22
ホームページ作成	13
パンフレット作成	3
マスコミ戦略	2
ニュースレター編集	1
HP更新方法	1
ブランディング	2
その他支援 (店舗レイアウト、事業立ち上げアドバイスなど)	4

・マッチング数（2013/3/31 現在）…10 件

	マッチング日	NPO団体名	活動分野	プロジェクト	かつぎて	状態
1	H24.4.2	NPO法人 こもんはうす	保健・医療・福祉	ホームページ改修	webデザイナー1名 同社内のメンバー1名	完了
2	H24.6.11	特定非営利活動法人 より良い暮らしネット	保健・医療・福祉	団体紹介パンフレット 制作	編集・ライター1名 同社内メンバー1名	完了
3	H24.7.27	特定非営利活動法人 ソルト・パヤタス	国際協力 職業能力開発・雇用機会拡充	ホームページ改修	webデザイナー2名 マニュアル作成 1名	進行中
4	H24.8.3	特定非営利活動法人 まる	保健・医療・福祉 まちづくりの推進	業務フロー整理	会社員1名 (中小企業診断士資格有)	完了
5	H24.8.22	特定非営利活動法人 遊び塾ありギリス	子どもの健全育成	会計処理支援	税理士1名	進行中
6	H24.10.3	特定非営利活動法人 グラウンドワーク福岡	保健・医療・福祉 まちづくり	年間報告書 編集ノウハウ支援	編集・ライター1名 同社内メンバー1名	進行中
7	H24.11.16	NPO法人 わくわーく	保健・医療・福祉	空間デザイン支援	西日本工業大学 研究室数名	進行中
8	H24.11.18	特定非営利活動法人 まちのカルシウム工房	まちづくり	団体紹介パンフレット 制作	デザイナー1名 九州デザイナー学院生	進行中
9	H25.2.29	しめテレビ	まちづくり	ホームページ更新 マニュアル作成支援	会社員2名	進行中
10	H25.3.5	山村塾	環境	ブランディング	webデザイナー1名 同社内のメンバー2名	進行中

・その他

通年＝オリエンテーション説明会（月2回、天神会場・博多会場）

12月＝広報PRのためのポストカードデザインコンペ

1月&3月＝「かつぎてないと」を開催するとともに、Facebookでも発信中

専用WEB：<http://www.fukuoka-katsugite.net/>

■「5丁目カフェ うさぎ」 [通年/定款B]

(主催：当センター)

・異分野の人たちが月に一回ゆったりと茶菓子をつまみながら語り交流できる場として2007年7月より開催。奇数月は当センターの事務所、偶数月はNPOの活動拠点で開催。

・実施回数＝5回、参加者数＝36名 ※のべ人数

うち、隔月企画として“NPO現場体感ツアー”を2団体で実施。

4月@当センター

6月@特定非営利活動法人循環生活研究所（福岡市）

9月@当センター

12月@特定非営利活動法人わくわーく（北九州市）

2月@当センター

・ご参考（12/14開催分@特定非営利活動法人わくわーく）

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50884406.html

■企業からの寄贈品のコーディネーション「つこーちゃん？」 [通年/定款B]

・企業からの物品類の寄贈依頼案件について、常設の窓口として、NPO・企業それぞれを対象に、一定の手続の下、コーディネート。

・大手企業の他、地場中小企業や個人からも協力あり。

【寄贈元】 企業 4社、個人 6名

【物品の種類】事務用品 15種、食器・調理器 39種、電子機器 13種、食品 2種

【寄贈先】 団体数 27団体、提供数 49ヶ

・専用サイト <http://www.npomono.info/>

そ の 他

■異セクター間の交流の取り組み

①4/21 (土)

設立 10 周年記念事業「みんなで展望！ 暮らしのこれから、NPOのこれから。」

- ・昨今の地域・社会 と それに向き合うNPOをはじめとする各セクターの動きについて、「検証」と「展望」を図るタベとして開催。NPO・地域・企業・行政の4つのセクターのキーパーソンを交えたトークの後、交流会。60名が参加。
- ・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/16>
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50867849.html

②11/ 2 (金) 「雑草 CUP 第 7 回 ボウリング大会」

- ・異セクター交流の機会として。14名が参加。
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50881675.html

■IT による情報発信関連の取り組み状況 [通年/定款D]

①ホームページ [NPO 庵] (12/04/01~13/03/31)

- ・11,968 訪問 (前年比 +3262)、29,813 ページビュー (前年比 +1809)
- ・事務局日記ブログ「NPO 庵ノ嘶」でも日々の活動を発信中 (05 年 11 月～、http://blog.livedoor.jp/npo_an/、twitter・Facebook と連動)

②メルマガ [NPO 庵だより]

- ・2012 年度中に計 18 号を配信、その他号外 3 回配信 (13/03/31 現在 vol.175)
- ・配信登録者数 3,641 名 (13/05/30 現在、前年比 +595 名)

③twitter [アカウント : fnpoc (<http://twilog.org/fnpoc> /まとめ読み可能)]

- ・情報発信やコミュニケーションに活用。
- ・3/11 の東日本大震災以降、震災に係る情報活動にも活用。
- ・Facebook と連動

⑤Facebook [<http://www.facebook.com/FukuokaNPOCenter>]

- ・情報発信やコミュニケーションに活用。
- ・twitter、ブログと連動
- ・いいね！数 311

■問合せ等への対応状況 ※前述の相談業務 および 下記のマスメディアの対応件数を除く。

①電 話 計 942 件 (12/04/01~13/03/31、前年比 -478 件)

②メー ル 計 97 件 (12/04/01~13/03/31、前年比 - 72 件)

③来訪等 計 56 件 (12/04/01~13/03/31、前年比 -108 件)

合 計 1,095 件 (前年比 -658 件)

■メディア対応状況

①取材関係

- ・新聞社より随時 (西日本・朝日・読売・毎日各部局)
- ・電話取材、来訪 計 28 件 (11/04/01~12/03/31、前年度比 +8 件)

②記事掲載等

- ・新聞 (イベント案内記事・コメント等、適宜)

■事務局での活動

ニューズレター「みみたぶ」月刊 (07 年 8 月～)

月例ボランティアプログラム「ぼらタイム」(ご常連3名の他、企業からも受入) [通年/定款B]
インターン受入 計1名(北九州市立大学 馬場弥生さん)

【参 考】委員・役員等

古賀桃子 担当分

・NPO関係

特定非営利活動法人MYP 理事
特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか 理事
特定非営利活動法人NPO博多まちづくり 理事
特定非営利活動法人まる(工房まる) 理事
アートサポートふくおか 監事
福岡ライフセービングクラブ 監査役
特定非営利活動法人日本NPOセンター 評議員

・行政関係

2009年度～ 福岡県「福岡県青年の翼実行委員会」委員
2010年度～ 福岡県「NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議」委員
福岡県「共助社会づくり事業運営委員会」委員
福岡県「森林環境税事業評価委員会」委員
福岡県「幸福度に関する研究会」委員
2011年度～ 長崎県「新しい公共支援事業運営委員会」委員
2010年度～ 岡山県備中県民局「協働事業審査会」委員
2010年度～ 福岡市「都市景観審議会」委員
2011年度～ 佐賀市「市民活動応援制度”チカラット”審査委員会」委員
佐賀市「ひかひか☆協働まちみがきプロジェクト審査委員会」委員
佐賀市「佐賀市民活動プラザソフト事業選定に係る審査委員会」委員
2010年度～ 嘉麻市「自治推進委員会」委員(自治基本条例関連)
2011年度～ 久留米市「コミュニティ審議会」委員
2012年度～ 朝倉市「朝倉市提案公募型協働事業審査委員会」委員
2012年度～ 鳥栖市「市民活動支援補助金制度」審査委員

・その他

2009年度～「社会的責任に関する円卓会議」ワーキンググループメンバー
(「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」として)

2012年度～ 中央共同募金会「赤い羽根災害ボランティア・NPOサポート募金」
運営委員 兼 下審査委員

「新たな募金手法(ファンドレイジング)の開発に向けた改革モデル事業」アドバイザー